

# 栽培期間中の EC、PH測定は、秀品多収穫を実現します。

- ※ EC及びPHは、絶対に一定ではない。
- ※ 地温上昇期には、ECが大きく上下動する。
- ※ 果菜類の収穫盛期には、ECが低下する。
- ※ 栽培期間の長い作物は、必ずPHが低下する。
- ※ 適切なECとPHは、病害虫発生を抑制する。

## EC、PH測定の薦め

- ☆ 精度は重要ではなく、傾向でよい。
- ☆ 土：水＝1：5混合後、数分で測定しても問題ない。(大きな誤差は無い)
- ☆ EC、PHとも、同時に測定可能。
- ☆ 数値に疑問であれば、再測定すれば良い。

## 追肥資材の選択

- ☆ 液肥または、水溶性肥料を使用。
- ☆ 固形肥料の場合、完全に溶ける事を操作できる肥料を追肥。
- ☆ 安全栽培、高収益領域では、3要素液肥の追肥で効果がある。(＋Mg、Mn推奨)

## 安全肥料濃度 (土壌灌水) (反当 4000 ㍓)

	倍率	反当
液肥	200倍	20kg
硫安	400倍	10kg
尿素	800倍	5kg
マグロース	400倍	10kg
ミネラル	2000倍	2kg

※ 灌水チューブ先端での、液肥濃度を測定し、EC1.2以下を確認。

## 果菜類 肥料選択図 (追肥用)

